



中村俊定文庫  
文庫 18  
102





中紙部

諧 俳

二月物

湖春言水  
和及  
信德如泉  
我竟  
全





六月廿一日



10 20 相馬産業

清水洗子足一時乃眠子乃り 子乃り

日を見ぬ雲下うら うら

腎セを考くありしコキ牧コキの中コキ コキ

海キエ一カ海カ下カ一カ信武カリ者カリもカリあり カリ

山クニ玉クニありぬのこクニるクニ於クニあるクニ總クニのクニ言クニ クニ

水ミ下ミ一ミ流ミるミ下ミ川ミ橋ミのミ樹ミ ミ

鳥トリ下トリ一トリ食トリるトリ下トリ岩トリ下トリ月トリをトリ見るトリ トリ

草クサ下クサ一クサ乃クサ流クサるクサ下クサ地クサ針クサ乃クサ下クサくクサさクサよクサ クサ

花ハナ下ハナ一ハナ葉ハナ下ハナ一ハナ葉ハナ下ハナ一ハナ葉ハナ下ハナ一ハナ葉ハナ ハナ

山ヤマ下ヤマ一ヤマ葉ヤマ下ヤマ一ヤマ葉ヤマ下ヤマ一ヤマ葉ヤマ ヤマ



まがきり残る 秋乃破酒 我思  
 石乃 双ナツメの罟根を越て 信証  
 うまげく僧ハ 世ハハナシ交 如琴  
 雨の間ハ 雲のおくま 秋乃破酒  
 水乃遠シヨロノ 翼ヲモタキ 秋琴  
 不言モトハス 糸子乃方此言はえ や  
 才乃つらうま 物乃三味線 言  
 陰志乃庭乃牡丹の枝ひきき 乃  
 吹矢乃 浅ヒサシし 百舌モトス此安や 音

手取あつ玉々を 秋の破社 思  
 滝乃け 碧乃月 落し乃り 泉  
 毛乃 流山乃き 江乃の恨なる 琴  
 鹿乃 奴乃時 草乃の蛇ヒ 水  
 喜乃 屋乃此 育ソダテ女乃のこころ 鹿  
 浴ニギ乃乃 交 落乃の中 江  
 腹切乃て 髪を後乃折乃む 泉  
 おもひを あを乃る 子乃の物乃さ 休  
 城乃 京の水乃て 布乃 音



夕ハ弥強乃逢（台）まら（サ）のそ  
 ちやくくと乳母（カ）膝（サ）乳（ノ）  
 軒（キ）草蒲（フ）は行くき雨  
 形（カ）ハ似ぬ濃（ク）太（ク）の毛（ノ）をき  
 傾（カ）埤（ノ）をありく（ホ）月（ツキ）  
 火（カ）を焼（ク）ぬ初（ハジ）習（ナ）維（キ）情（ナ）  
 以（シ）は連（マ）あ（ラ）る（マ）代（カ）の（カ）雁（ヒ）  
 恋（コイ）ひる月（ツキ）も標（サ）の（カ）を（カ）  
 笠（カ）が（カ）束（カ）れ白水（シロ）乃（ハ）は巾（キ）  
 思（オモ）青（アヲ）及（キ）休（ユ）身（ミ）如（シ）席（セキ）垣（ケ）也（ヤ）

舟（フネ）く（ク）く（ク）ふ（フ）乃（ハ）籠（カゴ）乃（ハ）風（カゼ）つ（ツ）じ（ジ）  
 河（カ）房（フ）を（シ）上（ノ）総（ソウ）も（モ）ぬ（ヌ）の（ノ）山（ヤマ）  
 我（ワ）カ（カ）敵（テキ）も（モ）う（ウ）バ（バ）三（サン）谷（コ）下（カ）行（ク）て（テ）見（ミ）ん  
 妾（メカ）の（ノ）つ（ツ）て（テ）師（シ）走（ソウ）日（ヒ）長（ナガ）き（キ）泉（イハ）  
 泣（ナク）知（チ）も（モ）も（モ）梅（ウメ）け（ケ）香（カ）も（モ）学（ガク）思（シ）ひ  
 き（キ）の（ノ）お（オ）乃（ハ）教（カウ）ぬ（ヌ）子（コ）乃（ハ）門（カド）雲（クモ）  
 ち（チ）老（ロウ）の（ノ）か（カ）も（モ）あ（ア）ら（ラ）く（ク）東（トウ）風（フウ）を（シ）  
 も（モ）あ（ア）つ（ツ）ハ（ハ）憎（クニ）キ（キ）ひ（ヒ）ふ（フ）乃（ハ）生（ナ）立（タ）得（トク）  
 残（ノコ）り（リ）ぬ（ヌ）身（ミ）を（シ）こ（コ）も（モ）ひ（ヒ）ま（マ）ぬ（ヌ）れ（レ）々（ツ）  
 思（オモ）席（セキ）垣（ケ）休（ユ）身（ミ）泉（イハ）や（ヤ）垣（ケ）也（ヤ）







鷹の連し言柳引人  
 此山乃秋を漸しく不勅守  
 程乃句ひ草の志れさる  
 響すて先土谷の水石ぬ  
 志をよお不れれと食へたる  
 いほの留子軍此虫をハ蹴撥し  
 今まきりくは妻のまきりし  
 此風は東路をこりて石をいの塚を不  
 福者いん石月の若衣  
 泉 彦 乃 休 也 思

八月の沢此名月まされ  
 清すみ菜のとぬえ園においけ  
 虫ふらむ雀乃春をてすあり  
 高方よ埋れ物産ありとる  
 破山ハ津浪よ花の根を掘て  
 躬よ金ふく春の物すあ  
 うきおと一きひ子の石ま  
 石乃送修や曲すすらん  
 花の虫よ連とけし身を倦て  
 泉 水 背 春 花 彦 乃 思



我<sup>カ</sup>為<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>し<sup>カ</sup> 屯<sup>カ</sup>のあ<sup>カ</sup>さ<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>  
 蒔<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>し<sup>カ</sup> 二<sup>カ</sup>苗<sup>カ</sup>の福<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>せ<sup>カ</sup>き  
 招<sup>カ</sup>き<sup>カ</sup>の星<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>す<sup>カ</sup> 十<sup>カ</sup>五<sup>カ</sup>  
 夢<sup>カ</sup>の屋<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>月<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>風<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>主<sup>カ</sup>め<sup>カ</sup>く  
 酒<sup>カ</sup>如<sup>カ</sup>房<sup>カ</sup>子<sup>カ</sup> 志<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>わ<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>春<sup>カ</sup>  
 夢<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>き<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>別<sup>カ</sup>れ<sup>カ</sup> 故<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup> 郭<sup>カ</sup>出<sup>カ</sup>  
 梅<sup>カ</sup>子<sup>カ</sup> 子<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup> 一<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>夜<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>神<sup>カ</sup>  
 長<sup>カ</sup>崎<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>山<sup>カ</sup>を<sup>カ</sup>こ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>を<sup>カ</sup>え  
 今<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>い<sup>カ</sup>ろ<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>火<sup>カ</sup>さ<sup>カ</sup>へ<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>け<sup>カ</sup>き  
 音<sup>カ</sup> 泉<sup>カ</sup> 也<sup>カ</sup> 者<sup>カ</sup> 矣<sup>カ</sup> 思<sup>カ</sup> 水<sup>カ</sup> 休<sup>カ</sup> 府<sup>カ</sup>

あつたぬ

時<sup>カ</sup>角<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup> 檜<sup>カ</sup>子<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>文<sup>カ</sup>字<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>う<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>き<sup>カ</sup>  
 う<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>き<sup>カ</sup> 双<sup>カ</sup>引<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>人<sup>カ</sup>乃<sup>カ</sup> 勢<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>  
 二<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>き<sup>カ</sup>写<sup>カ</sup>れ<sup>カ</sup> 継<sup>カ</sup>橋<sup>カ</sup> 陸<sup>カ</sup>以<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>  
 尾<sup>カ</sup>を<sup>カ</sup>足<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup> 認<sup>カ</sup>乃<sup>カ</sup>を<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>志<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>ぬ  
 布<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup> 一<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup> 團<sup>カ</sup>丸<sup>カ</sup> 折<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>ね<sup>カ</sup>に  
 此<sup>カ</sup>さ<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>言<sup>カ</sup>は<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup> 一<sup>カ</sup>う<sup>カ</sup>を<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup> 市<sup>カ</sup>打<sup>カ</sup>  
 見<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>し<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup> 燈<sup>カ</sup>籠<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>ふ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>り  
 夜<sup>カ</sup>伽<sup>カ</sup>羅<sup>カ</sup> 鼻<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup> 昔<sup>カ</sup>備<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>女<sup>カ</sup>人<sup>カ</sup>  
 飛<sup>カ</sup>遠<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>う<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>き<sup>カ</sup> 一<sup>カ</sup>り  
 思<sup>カ</sup> 泉<sup>カ</sup> 矣<sup>カ</sup> 者<sup>カ</sup> 矣<sup>カ</sup> 思<sup>カ</sup> 水<sup>カ</sup> 休<sup>カ</sup> 府<sup>カ</sup>



弥勤みるく 今さらぬ事 道

七月廿一日

權ハ踊ヲビラぬさと此気色式 周也

船フネより見ゆる 吾方 此鱗シヤキゴ 為文

霧霧子歩アハ秋の日を急ぐ人 自身

燈カ分カ解カを返す 舞月 祐智

護ギボシ形乃 おおし元和と産しよ 仙居

高年下ワラゲ及ある てる市此物 云水

牛年と草ワラゲ艷ワラゲ拾ワラゲおワラゲきワラゲるワラゲりワラゲ 湖亭

孔トき

義和布ト乃 株を焼大折後之 我思

人魂の飛トき 文引松原也 伝述

穢エ原ハ雨乃 一時をまろ 如琴

いつとて、穢エ多タの栖スミの新敷 可休

云つとくハさる 仙なるらん 景雲

大海の山石ト乃 船破る心ふし 如泉

清海ハ樂ト来ト福トなる 樂々 執筆

玉越トて敵ト乃 登をトつトりトき 音

折トぬト乃 つトもト新ト座ト乃 小鼓 也







舟のちゆる船ハ鯉ニシの富実て  
 水魚といふを 中ねゆきと  
 浅アサく伯父ウヂを夫ウサまをウサげ  
 蒼目アヲよき見乃寐ニそクヒくクヒ  
 松乃風降今イマも此ココ音留ネドて  
 玉白ク 生玉乃蓮イハス  
 胡朗神コウ子コの燈トウ火カうカくと  
 誰ナニ屋ヤ乃ノ大オホ此ココ器キを造ツクつ  
 笠カサ乃ノ粥カユ吞クハるをおり立て  
 及水 泉 休 何 吾 水

工クニうウ流ルる 御ミコト臺ノあアうウり  
 良將乃屯チノ子コ筆ヒツの山深ヤマク  
 琢トクける石イシよ月ツキ此ココ水ミヅとる  
 秋乃秋ハアキ踏フミ下シタ後ノ音ネ計ケイ  
 曉トキ暮クをシ後ノ干カラ毛モウ風フウ  
 毛モウゆユする吉キチ境キマ 妬ネガ子コ割カるルん  
 やヤよヨ志シのノ心ココロて 糸イト近チカきキ字ジ  
 春ハル雨アメよヨうウきキ若ワカ乃ノ二ニ字ジ此ココ形カタ也ヤ  
 腫ハレいと白シロく 門カド乃ノ乞ヒケ食ケ  
 地チ房フウ 也ヤ水ミヅ亭テイ 音ネ房フウ 何ナニ 水ミヅ



深窓内望乃舞夕々水々  
 乃毎乃氏乃千管つまれ  
 傾城の我々方を思ふうさよ  
 河原千ハ死ぬ人乃世の恋  
 梅るるく梅よ来さるる梅思き  
 春乃川積 浴室乃深  
 復世 日を思ふさよ此おうさよ  
 くせをゆよ 視さるるあ  
 方去るぬそれ矢まきさ此移れ  
 水 房 考 音 垣 水 也 及 考

苔の克し 捨石の 弥陀 思  
 水條とおろしき 家も月あれ  
 西乃ちき 秋 新文を虫  
 吹き 来し 妻の玉よ祐めて  
 枝豆 おとく <sup>サスビ</sup> 加子 ちいさき  
<sup>タンカシ</sup> 画 此牛ハうめくよ 忘れり  
 梅乃 志ねととも 西月の礼  
 己乃花んまいと 忘るる 静  
 はるいとら 此はし 山吹  
 水 房 考 泉 房 考 及 考 泉 思



小鳥過ふ竹立はハ者もなきし  
 夜を梅ぼりさこと此狭きや  
 舞をたよ極めぬ翁心も  
 肩袖ふりてハつき  
 杜宇 ホトトギス ちろく雨またまきれし  
 麦踏原ハ小勝 コカツ 翁人  
 竹根山曙月子 関越え  
 山石尾乃ちりも指し物さる  
 新岩 ニト子 今此箇のおろそりよ  
 音 悪 極 水 泉 考 悪 也 音

櫛 ハシ 髪 カミ こそるハ 猫のちりぬ  
 いもつゝハ真女と言ひん悟るまて  
 僕 ボク 抱 ダク も 根 ネ 衣 イ 懐 イ ぢる  
 奥 ウチ 深 フカ ノ 草 クサ 一 ヒト 葉 ハ 何 ナニ ぞ 井 イ 戸 ド ありし  
 枝 エダ 三 ミ ツ 四 ヨ ツ 桃 モモ 咲 サキ けり  
 蝶 テフ 遊 ユ ぬ ヌ ち チ 出 デ 立 タテ 立 タテ 立 タテ 立  
 鐘 ネ こ コ え エ ぶ ブ ぎ ギ 在 在 生 生 此 此 桶 桶 氷  
 日 日 の の ハ ハ ツ ツ 水 水 世 世 采 采 を を 買 買 け け 庭 庭 けり  
 声 声 々 々 拵 拵 申 申 一 一 乃 乃 者 者 子 子 六 六 寸  
 及 悪 泉 也 考 水 極 音



のうら麻の鞍とくすくすて越ス峠  
 神よ志すめる 一 智地靈  
 持持人 此杯を洗ふ水の月  
 垣をみよふの柳の煙のる  
 幕 一 一 お室の花のさる  
 氣随よふて 空を穿つらん  
 大名や 春の波の舞の舞も  
 伽羅よ句ひを 隠は 戸  
 糸をるの十五子なる小夜中に  
 恒 其 音 也 泉 也 佐 水 考

(四十一) 竹葉

十文

草一乃玉とく 我を振くる  
 見果ぬをうそひて文のあやわす  
 片敷 腕よ 中を穿つる編  
 八月十一日  
 唯礼乃帽つく月と冷の石 為文  
 芭蕉砂する 雲乃 曙 貞  
 秋を刻る小南の響 鼓 己 け 秋  
 酒を上之しを 差次 水 けり 仙  
 火焼くへて 煙よをのり白黒し 如



る子 二三 人 陰囊 形 しく  
 日の 泰 龜 為 なる 是を みる 也  
 磯 を きき 山を 夕ア うれ する  
 姨 中 人 也 我 中 有 的 と 字 法 子 較  
 ころ と 威 し 姿 う を 仰 ぎ  
 悲 夜 幸 夜 の 赤 裳 衣 ぶ くら け  
 山 際 し 交 低 と 思 ころ 人  
 内 裏 より 此 護 摩 百 日 也  
 今 有 る 随 之 ころ 少 時 有 也  
 信 匠 湖 女 固 可 休 我 水 信 匠

10 20 相馬屋 琴

時 さ ぐり 澄 い 知 子 と くだ む  
 此 代 子 一 八 ひ ぬ 士 乃 子  
 独 ある 母 子 孝 子 有 流 之  
 鏡 と 恥 する セ 夕 夕 の 井 戸  
 躍 ぐ ぬ ば 秋 又 ぬ 毛 の 心 子  
 萩 と 風 鈴 子 一 羽 織 ぬ い し  
 舟 を 斜 子 連 なる 今 船 の 羽 子  
 足 や こ を さ ま 足 是 子 の 養  
 一 世 乃 認 一 取 注 せ ころ  
 文 匠 泉 固 可 休 我 水 信 匠



約してとや一 元三乃妻 彦  
やよひをこそ人ぬ 城を恨むを  
梅の木を切ん 杉櫻の次キ 及也  
郭一乃子 飼そそぬ物として  
浪を如く 外海を弄ん 及水  
あき 才ハ輝 虎よしく思ふん 及馬  
ぬう 味噌汁よ 綴一足 及臣  
藤あしと 菊の葉の畹よ 及翁  
秋を忘れとく 蝶ののろ見え 及書

祭日の地蔵や 木のおとすらん 又  
女の歩み 海月乃 暁 及馬  
うらうらと思ひ 下ノ 堀の 橋を 及及  
ききき 雪を 庭ま くら 及思  
笠 袴て 柳の 我を 驚る 及房  
遊水く 一里 ゆく 其の 扱れ 及や  
二月 やすし 息を 下ノ 室 及水  
うき 身よ 果ぬ 雪の 浴や 及水  
いと 子に 麻乃 裾 裾の 裾を 及書



有る立をむる 蔭る泉乃 藤 泉  
 ひえの山水 口はこゝろ 八尺もより  
 うさげく 立ちて 櫂シギミ 一枝  
 感状 乃 管よハ 雨のとき さら  
 ちんたるや 志の 秋を 夢  
 秋長さを 堀よつ ありて ながて  
 月院の 律乃 門よ 入 泉  
 池の 面 友を 水は けつ ずし  
 つらの とき なる 岩の 空カハ 翠セエ

京 ありく 京に 遠く 日を 永く  
 後 せぬ 見ぬ ねと 佛 夢ゆめ ごとく  
 我 殿の 四下 近き むつ こと 如  
 ちんちん ねまぬ 神 鳴の 室  
 剃 刀 此 あり して 眉の 疵 子  
 思 せん なる 舟よ 年 とも  
 此 乃 乃 富士 絶ト ぬる あり け  
 五月 乃 火 燧 夏 乃 草  
 扱 する の 写 あり ぬ くる 人も あり

水 泉 房 日 思 水  
 水 泉 房 日 思 水  
 水 泉 房 日 思 水



うづむ 篋 乃 末 と あり ける  
 けよ さ 凡 朽 の 枝 あり 又 ま くら せ  
 引 控 斗 一 暮 乃 送 り 火  
 仙 洞 の 篋 一 月 望 人  
 印 影 此 石 子 文 峰 堂 の 萩  
 長 刀 の 金 精 子 志 々 々 々 々 々  
 又 め せ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
 洪水 一 此 日 權 の 人 を 君 一  
 八 町 廻 る 神 輿 一 乃 乃 乃 乃 乃

10 20 柏 通 屋 敷

夕 食 乃 烟 一 乃 乃 乃 乃 乃  
 お ま せ 一 乃 乃 乃 乃 乃  
 お 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
 招 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
 恋 此 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
 れ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
 や さ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
 火 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃







曲新めつし 策彦乃房 也  
 やがまゝす水よ車をぬきせ  
 傀儡のうら 石乃西校  
 苗代よつと 柳原乃新子 文  
 石原乃一 吹の風のては 乃

貞享第四龍集下

季秋初五

神田新草屋町

書林

西村 吹風

京

同 嘯杏子

刊行

多  
 石原乃 伊原乃 柳乃 新子







